

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 自然災害対応訓練

自治体名 岡山県玉野市

消防団名 玉野市消防団

1 事業の目的

近年において、自然災害が多発化、多様化、激甚化し、地域密着性、即時対応力のある消防団の存在が重要視されている中、あらゆる自然災害に対し迅速かつ適切な対応ができるように、知識と技術を習得し、災害時の被害軽減を図ることを目的とする。

2 事業内容

近年において、自然災害が多発化、多様化、激甚化し、地域密着性、即時対応力のある消防団の存在が重要視されている中、あらゆる自然災害に対し迅速かつ適切な対応ができるように、新たな資機材を導入するとともに、知識と技術を習得し、災害時の被害軽減を図る。

また、応急手当普及員である女性消防団員を応急手当訓練ブースの講師として依頼し、応急手当普及員と女性活躍の推進を図る。

自然災害対応訓練として、下記の3ブースに分かれてローテーションで訓練を実施する。

1. 地震等対応訓練

地震等対応訓練として、応急手当訓練を実施する。

2. 災害啓開訓練

災害啓開訓練として、チェーンソー取扱訓練を実施する。

3. 水防訓練

水防訓練として、土のう積み訓練を実施する。

3 事業成果

1. 説明会・訓練・検討会の開催について

安全にスムーズな訓練を進行するため、事前説明会を開催し、訓練に望んだ。

訓練においては、地震・災害啓開・水防の3ブースをローテーションにて訓練を実施した。1日に自然災害に関係する3種目の訓練を効率的に実施することが出来、知識と技術の習得が出来た。

また、検討会は、アンケート回答等を参考にフィードバックを実施。訓練目的を果たせ、印象も良かったため、今後も訓練を継続的に実施することとした。

2. SNSへの投稿について

当日の訓練風景をInstagramへ投稿し、消防団活動の紹介と消防団員の加入促進を実施した。

3. 女性活躍推進及び応急手当普及員の推進

訓練指導のため、女性消防団員も参加し、女性活躍推進及び応急普及員の推進を図り、男性団員と女性団員の交流も含め、お互いの信頼関係を構築することが出来た。

4. 資機材の整備

訓練を通じ、技術と知識を学ぶとともに、自然災害に備えた資機材の整備と装備の充実を図った。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	2回	2回	
訓練参加者	人数	100人	101人	
アンケート 検討会・SNS投稿	回数	1回	1回	

5 その他参考情報

SNS投稿 Instagram 玉野市消防本部【公式】

